

事務事業名		妊産婦・乳幼児等訪問指導事業		会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	款	4	衛生費
	施策(節)	1	保健・医療	項	1	保健衛生費
	施策の方向	(2)	保健事業の推進	目	2	予防費
	関連する計画等			事業	6	親子すこやか
				作成部署	保健福祉部保険健康室健康増進課	
				連絡先	072 958 1111 内線 5150	

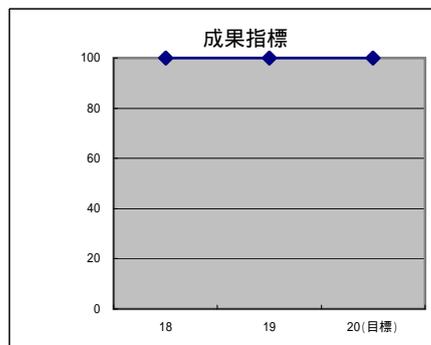
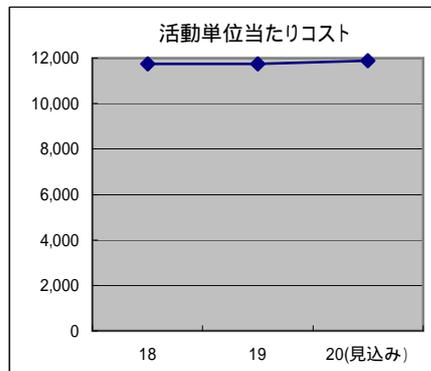
対象(誰を・何を)
 妊産婦・新生児・乳幼児で、訪問による保健指導が必要であると認めた人、または訪問を希望する人

意図(どういう状態にしたいのか)
 必要な保健指導を行うことで、安心して妊娠・出産を迎えたり、育児不安の軽減を図る。

事業の内容
 訪問指導が必要と認められた人に対し、保健師または助産師・栄養士などが家庭訪問を行い、個々の状況に応じた保健指導や必要な援助を行う。
 乳幼児の発育・発達の確認 養育環境の確認 母子保健サービスの紹介 育児相談等

根拠法令等	母子保健法					
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 9 年	月開始	<input type="checkbox"/> 明確にはわからない	終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化	子育てをしている親の精神面への支援が必要なケース(孤立・育児不安・虐待予防など)が増えている。					
市民や議会の要望						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金・助成金	<input type="checkbox"/> その他()	
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称				
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		委託内容	妊産婦・新生児訪問指導委託		

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】	(千円)	864	970	1,400
人件費【2】	(千円)	7,380	8,160	8,580
職員数	正規職員	0.85 人	0.80 人	0.85 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.10 人	0.60 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間) 0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】	(千円)	8,244	9,130	9,980
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)		
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	8,244	9,130
活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度	20年度(目標)
訪問指導延べ件数	件	701	777	840
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		11,760 円	11,750 円	11,881 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		68 円	76 円	83 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	訪問実施率(%)	訪問対象者(希望者)への訪問実施率	式) 訪問実施者 ÷ 対象者(希望者) × 100	100	100
			実績	100	100.0%
			目標		達成率(%)
			実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育て環境の変化に伴い、育児不安や虐待予防への支援が求められている現在、相談・指導・援助の場としての訪問指導は大きな役割を果たしている。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	妊娠～産褥期、新生児期を対象とした家庭訪問は、市内の医療機関では行っていない。対象者は不安や心配の多い時期であり、個々の状況に応じて対応するためには、訪問という実施方法が効率的である。
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新生児期は、母親にとっては育児のスタートとなる時期であり、順調にスタートをきることが良好な母子関係の構築において重要である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要な人に対し訪問指導ができています。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由
	核家族化やひとり親世帯の増加など、社会環境の変化により育児不安や虐待予防への支援が求められている。こんにちは赤ちゃん事業(新生児の全数訪問)が制度化されたこととともない、第1子については助産師等が訪問する乳幼児訪問指導事業を拡充することとする。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
新生児訪問指導事業については、第1子の全数訪問を目標に実施する。	